

令和6年度（対象：令和5年度）

日吉津村地方創生総合戦略

評価検証報告書

< 内 容 >

1. 総合戦略の評価について
2. 総合戦略の進捗状況の概要について
 - 人口の状況
 - 基本目標と重要業績評価指標（KPI）の状況
 - ・基本目標1
住んでみたい、住み続けたいむらづくり
 - ・基本目標2
結婚・出産・子育てしやすいむらづくり
 - ・基本目標3
働き続けられるむらづくり
 - ・基本目標4
魅力あふれるむらづくり
3. 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）事業効果検証報告書について

日吉津村
日吉津村総合政策課
（令和6年8月報告）

1. 総合戦略の評価について

(1) 評価検証の目的

日吉津村地方創生総合戦略は PDCA サイクルを活用しながら着実に推進することとしており、進捗について毎年度評価を実施し、今後の施策や事業の改善に活用します。

「日吉津村地方創生総合戦略推進本部」での内部検証、外部有識者で構成する「日吉津村地方創生推進会議」での外部検証を行い客観的に基本目標及び重要業績評価指標（KPI）の進捗状況を把握し、評価結果は議会に報告するとともに村民に公表します。

《国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」より抜粋》

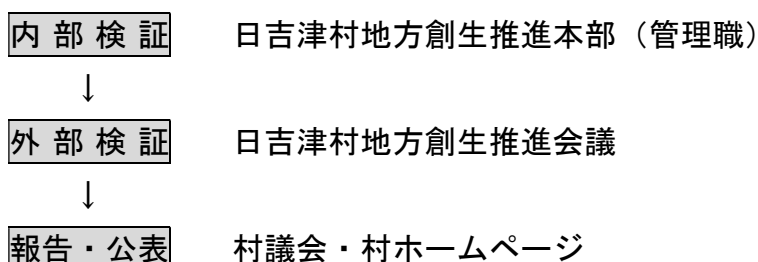
附論 第1章 まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

5. 結果重視

施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。

その後、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善を行う。

<参考：検証の流れ>



(2) 評価検証の具体的な方法

総合戦略の評価検証は、「総合戦略の全体評価」、「基本目標の評価」及び「施策の評価」で構成します。

なお、検証にあたっては、4つの基本目標毎に設定した「数値目標（KGI）」、及び13の施策毎に設定した「重要業績成果指標（KPI）」の達成度を確認するとともに、それらの達成状況等に重点を置いて評価します。

■KGI（Key Goal Indicator）：戦略を達成するうえでゴールとなる目標を定量的に示した指標

■KPI（Key Performance Indicator）：KGIに到達するまでのプロセスを定量的に評価するための指標

【評価区分及び項目にする説明】

①総合戦略の全体評価

項 目	記 述
(1) 総括評価	「基本目標の評価」を踏まえた戦略全体の総括
(2) 地方創生会議の意見	村の総括評価に対する地方創生推進会議の意見
(3) 今後の取組方針	「基本目標の評価」及び「地方創生会議の意見」を踏まえた戦略全体の今後の展開方針

②基本目標の評価

項 目	記 述
(1) 数値目標の進捗	実績値、達成度
(2) 基本目標の評価	達成度評価、評価の判断理由、評価を踏まえた今後の取組方針

【達成度評価判定区分】

判 定	区 分
達成	実績値が目標値以上
おおむね達成	実績値が80%以上
努力を要する	実績値が80%未満
実績値なし	実績値が無いため評価できない

〈達成度の算定方法〉

$$\text{達成度 (\%)} = \text{実績値} \div \text{目標値} \times 100$$

③施策の評価

項 目	記 述
(1) 基本事項	施策目標、事業内容、評価指標 (KPI) の実績値と達成度
(2) 結果・自己評価	施策結果、評価、地方創生会議の意見
(3) 継続・改善点	今後に向けた取り組み方針

2. 総合戦略の進捗状況の概要について

(1) 基本事項

① 戦略の位置付け・目的

日吉津村地方創生総合戦略は、平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、本村の実情に応じた「まち・ひと・しごと創生」に関する施策について基本的な方向を定めるものです。

本村では平成27年9月に「日吉津村地方創生総合戦略」（第1期総合戦略）及び「日吉津村人口ビジョン」を策定し、各施策に取り組んできました。

令和3年2月には、国の動向を踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的・持続的に取り組むため「第2期日吉津村地方創生総合戦略」（第2期総合戦略）を策定しました。

村の最上位計画である第7次日吉津村総合計画に掲げる基本構想を踏まえつつ、「人口減少の歯止め」「人口減少社会の中での幸福な暮らしの維持」の2つの視点にたって本村独自の総合戦略として集中的に展開していくために策定しています。

② 戦略の期間

令和3年4月～令和8年3月

③ 戦略の骨格

～日吉津村の地方創生～

◎ 2060年(R42)に3,600人の人口を目指します。

◎ 4つの項目によりこの戦略を推進します。

- ①住んでみたい、住み続けたいむらづくり（住むなら日吉津！）
- ②結婚・出産・子育てしやすいむらづくり（子育てなら日吉津！）
- ③働き続けられるむらづくり（仕事づくり！）
- ④魅力あふれるむらづくり（元気なむらづくり！）

(2) 人口の状況

村では以下の人口ビジョンを掲げています。

2060年（R42）に3,600人の人口を目指す

【日吉津村の人口動態（基準日1月1日）】

（単位：人）

	H31.1	R2.1	R3.1	R4.1	R5.1	R6.1
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
人口	3,559	3,554	3,554	3,575	3,599	3,620
社会増減	9	△ 10	2	20	40	36
転入計	214	176	166	169	186	176
県外転入者数	90	53	56	52	66	57
県内転入者数	124	123	110	117	120	119
転出計	205	186	164	149	146	140
県外転出者数	94	70	55	50	66	74
県内転出者数	111	116	109	99	80	66
自然増減	2	5	△ 5	△ 1	△ 15	△ 8
出生者数	33	42	31	31	30	31
死亡者数	31	37	36	32	45	39

【地域別の社会動態】

（単位：人）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	合計
東京周辺 （東京・千葉・埼玉・神奈川）	△ 2	△ 9	△ 2	4	△ 9	△ 4	△ 22
転入	9	4	4	13	6	10	46
転出	11	13	6	9	15	14	68
大阪周辺 （大阪・京都・兵庫）	△ 3	0	3	△ 8	△ 9	△ 16	△ 33
転入	8	12	13	4	5	4	46
転出	11	12	10	12	14	20	79
中国地方（島根県以外） （岡山・広島・山口）	△ 2	△ 17	3	△ 1	7	4	△ 6
転入	47	10	23	9	14	14	117
転出	49	27	20	10	7	10	123
島根県	10	0	2	3	5	△ 1	19
転入	15	9	8	15	18	15	80
転出	5	9	6	12	13	16	61
その他の地域	△ 7	9	△ 5	4	6	0	7
転入	11	18	8	11	23	14	85
転出	18	9	13	7	17	14	78
県内	13	7	1	18	40	53	132
転入	124	123	110	117	120	119	713
転出	111	116	109	99	80	66	581
合計	9	△ 10	2	20	40	36	97

本村の社会動態は、関東や関西地方への流出が続いているものの、米子市をはじめとした県内からの流入が上回っていることにより増加している状況です。

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり					評価	達成
目標	日吉津村の暮らしやすさ、立地条件の良さ、自然環境の住みやすさを広く発信し、移住定住の促進を図ります。						
◆数値目標 (KGI)							
指標項目	人口の社会動態						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	R1	—	—	—	—	75人	R3からR7の累計
実績値	66人	20人	40人	36人	—	—	
達成度 (単年達成度)		26.7% (133.3%)	80.0% (266.7%)	128.0% (240.0%)	—	—	単年目標値 (15人)
◆戦略の進捗分析／評価 (総括)							
<p>【人口の社会動態】 平成27年と令和2年の国勢調査を比べると、鳥取県では唯一日吉津村のみ人口が増加しており、1.8%の増加率でした。令和5年12月末時点の日吉津村の総人口は3,620人で、令和5年1月から12月の社会増減数は36人（転入：176人 転出：140人）でした。</p> <p>基本目標1の目標値は、人口の社会動態が令和3年から令和7年までの5年間の累計が75人以上になることであるため、3年目である本年度は15人（75人/5年=15人）以上の社会動態の増加があれば達成しているといえます。令和5年の人口の社会動態は36人の増加であるため、目標数値（KGI）は「達成」と評価することができます。</p> <p>また、日吉津村における人口1,000人あたりの転入者数は10.13人であり、鳥取県で1番高い数値となっています。日吉津村への移住者の前住所地をみると、県内では米子市などの鳥取県西部、県外では島根県からの転入が多く、首都圏からの移住者の確保についての施策を講じる必要があります。</p>							

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり	11 住み続けられる まらぶくり		
施策 1-1	移住・定住支援			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	移住定住総合相談窓口の拡充を行い移住希望者の支援を行うとともに、空き家情報の情報発信や住宅に関する各種補助制度を活用することで、移住者が日吉津村で安心して定住できる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	移住定住支援事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	移住定住総合相談窓口を設置し、結婚から就労、定住まで、IJUターン希望者を総合的に支援します。						
	【事業名】	移住定住支援金			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	東京23区から日吉津村に移住し、鳥取県が指定する事業所に就職した方へ交付金を支給することで移住しやすい環境を整えます。						
事業内容 (P)	【事業名】	結婚・子育て世帯等応援補助金			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	村内に新規で専用户建住宅を取得し、継続して村にお住いの40歳未満の世帯へ補助金を支給し定住を図ります。						
事業内容 (P)	【事業名】	空き家の解消と住宅建築可能土地の確保			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	空き家や宅地情報について村のホームページに掲載するとともに、所有者へ早期にアプローチをして土地や住宅の利活用を推進します。						
評価指標 (KPI)	指標項目	20～30代の転入者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	100人	R3からR7の平均
	実績値	100人	101人	105人	96人	—	—	
	達成度		101.0%	103%	101%	—	—	
評価指標 (KPI)	指標項目	20～30代の転出者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	90人	R3からR7の平均
	実績値	94人	85人	79人	83人	—	—	
	達成度		105.9%	109.8%	109.3%	—	—	
評価指標 (KPI)	指標項目	専用住宅新築棟数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	50棟	R3からR7の累計
	実績値	17棟	18棟	25棟	21棟	—	—	
	達成度		36.0%	86.0%	128.0%	—	—	

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内企業のPR動画を作成予定 ・東京23区移住者支援金 0件 (東京23区から村に移住し、指定事業所等に就職した方へ支援金支給) ・令和5年度結婚・子育て世帯等応援補助金 9件 (40歳未満の世帯が、村内で新築または中古住宅を取得した場合に補助) ・令和5年度結婚・子育て世帯等定住促進補助金 1件 (申請対象は2件) (応援補助金の受給世帯が、村居住後5年以上経過及び住宅取得後3年以上経過した場合に補助) ・空き家解消3棟 (解消後の空き家は31棟) 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚・子育て世帯等応援補助金の問合せが例年に比べて多く、子育て世代の移住のきっかけとなり注目されている。 ・空き家所有者から売買の相談を受け、宅建業協会を経由して、不動産事業者と連携しHPへの物件掲載につながった。(1件)
	<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村内に住み続け、村外へ出た方も当村へ帰ってこれるよう雇用先の確保等が必要。 ・住宅取得希望者からの問合せはあるが、村内の物件に限られている。 ・空き家を手放さない所有者が多く、空き家管理や処分方法の周知啓発が必要。
<p>委員会意見</p>		

3. 継続・改善点等

<p>次年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二十歳を祝う会において、村へ安心して定住できるよう希望者には就職情報の提供等を実施予定 ・引き続き、移住者及び子育て世代への支援や聞き込み等の情報収集を実施予定 ・空き家利活用を推進するために、空き家所有者へアンケート調査を実施予定
------------------------	---

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり	11 住み続けられる まちづくりを	17 ハートアンテナで 目標を達成しよう
施策 1-2	シティプロモーションの推進		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	日吉津村の魅力を効果的に発信し「ひえづのファン」を増やすことで交流人口を増やし、「まち」と「人」が魅力を高めあう好循環が生まれる村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	地域魅力発信事業					【担当課】	総合政策課	
	【事業概要】	各種媒体（総合パンフレット、SNS等）を活用して、日吉津村の魅力を村内外に発信します。							
	【事業名】	ホームページ運営事業					【担当課】	総合政策課	
【事業概要】	村のお知らせや各種施策についてわかりやすく伝わるよう、村のホームページを運営しています。								
評価指標 (KPI)	指標項目	SNS投稿数（インスタグラム）							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	400件	R3からR7の累計	
	実績値	10件	4件	175件	235件	—	—		
	達成度		1.0%	44.8%	103.5%	—	—		

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンターでのPRブースにてパンフレットを毎月30部程度配架（結婚支援えんトリー、各キャンペーン、移住定住情報誌、観光関係、図書館だより等） ・SNS活性化のため職員に共有 ・全国の鳥取県ファンに日吉津村パンフレットを300部程度送付（アンテナショップや鳥取県の関西本部や東京本部に送付） ・井田幸昌氏（村出身アーティスト）と村長との新春対談を行い、日吉津村のPRを実施 							
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィレステひえづの積極的な投稿もあり、R5年度の投稿数は3倍近くになった。 ・ショッピングモールと連携し、継続的にパンフレットや広報誌の配架を実施。手に取ってくださる方が多く、月の半ばまでに配架物がなくなることもある。 						
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・村の情報を幅広く提供するために、各課においても主体的にSNS投稿ができる職員の育成が必要。（LINE等の投稿数が少ない。） ・公式ホームページから知りたい情報が探しにくく、必要な情報はタイムリーに提供できるような仕組みが必要。（担当者の更新作業、見やすい表示の設定等） 						
委員会意見								

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生支援マネージャーを起用し情報発信の強化、「ひえづのファン」拡大による交流人口の増加や地域コミュニティの活性化を目指す。 ・LINEサポート事業者による職員研修(SNS投稿等)の開催。 ・ショッピングセンターに設置しているデジタルサイネージの利活用。 							
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり		
施策 1-3	地域とつながるにぎわいの創出		

1. 総合戦略基本事項


施策目標	観光誘客を促進するため海浜エリア活性化など、地域資源の活用を推進するとともに、ふるさと納税を活用し交流人口の増加をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	大山山麓・日野川流域観光推進協議会広域連携事業				【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	つながるマルシェの開催や観光雑誌への広告の掲載など広域で取り組んでいます。							
	【事業名】	海浜エリアの活性化				【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	海浜運動公園をはじめ、海浜エリアの活性化に向け検討委員会等を開催し、魅力のある海浜エリアによる交流人口の増加をめざします。							
	【事業名】	海浜運動公園管理事業				【担当課】	総務課		
【事業概要】	海浜運動公園を快適に利用できるように、有料施設の運営・管理を行っています。								
【事業名】	ふるさと納税推進事業				【担当課】	総合政策課			
【事業概要】	魅力のある返礼品を開発し、ポータルサイトやアンテナショップなどでPRし、ふるさと納税の推進を図っています。寄附金は、環境保全や教育の振興等趣旨に沿った事業へ活用しています。								
【事業名】	企業版ふるさと納税推進事業				【担当課】	総合政策課			
【事業概要】	税の優遇措置を活用して都市からの資金の流れをつくとともに、日吉津村を応援する企業が増え交流人口の増加につなげます。								
評価指標 (KPI)	指標項目	観光入込客数（米子・皆生温泉周辺エリア）							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	1,000千人	R3からR7の平均	
	実績値	1,024千人	689千人	929千人	1,198千人	—	—		
	達成度 (単年達成度)		68.9% (68.9%)	80.9% (92.9%)	93.9% (119.8%)	—	—	単年目標値（1,000千人）	
評価指標 (KPI)	指標項目	海浜運動公園利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	14,000人	R3からR7の平均	
	実績値	13,583人	7,785人	10,029人	13,439人	—	—		
	達成度 (単年達成度)		55.6% (55.6%)	63.6% (71.6%)	74.4% (96.0%)	—	—	単年目標値（14,000人）	
評価指標 (KPI)	指標項目	ふるさと納税寄附額							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	100,000千円	100,000千円	100,000千円	—	100,000千円	毎年	
	実績値	198,930千円	92,945千円	63,233千円	66,131千円	—	—		
	達成度		92.9%	63.2%	66.1%	—	—		
評価指標 (KPI)	指標項目	企業版ふるさと納税寄附額							
		基	R2	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	10,000千円		R2からR6の累計 (※税額控除の適用期限が R6までのためR2～R6)
	実績値	—	1,500千円	4,000千円	9,400千円	5,100千円	—		
	達成度		15%	55.0%	149.0%	200.0%	—		

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場利用者 6,595人、多目的広場利用者 1,070人、芝生広場利用者 5,774人、ゲートボール場利用者 0人(計:13,439人)、テニスコート(利用停止中) ・ふるさと納税についてホームページ、鳥取県民コーナーや他県の県事務所やアンテナショップにおいてPR ・個人版ふるさと納税寄附件数 1,885件 ・企業版ふるさと納税寄附企業数 R2(2社)、R3(3社)、R4(11社)、R5(10社) 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜運動公園の利用者がコロナ以前の水準に戻ってきている。今年度は商工会と連携したサイクルカーニバルを同公園でも実施し、引き続きマルシェも実施予定。 ・ふるさと納税の新規返礼品数を増やしたことで魅力発信の強化を行った。 ・企業版ふるさと納税に御協力いただいた企業に対して、感謝の意を表するとともに、企業の社会貢献を広く周知、官民連携を推進するため感謝状の贈呈式を実施した。また委託事業者と連携し県外からの寄附社数が増えた。
	<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート、ゲートボール場の利活用のため、サウンディング調査等を着実に実施しながら、利用者のニーズに応じた用途の把握や再整備の実施が急務である。官民連携による海浜公園の魅力化に向けた取組が必要。 ・ふるさと納税の引き続き魅力的な返礼品の開発や広報が必要。 ・企業版ふるさと納税の1社あたりの寄附額が減少傾向にある。
<p>委員会意見</p>		

3. 継続・改善点等

<p>次年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜エリア活性化計画に基づき再整備方針案を作成し、住民説明会を実施 ・基本計画の作成にあたり、民間事業者の意見を参考に最適な整備内容を検討 ・海浜運動公園は、村民からの要望が多かった子育て広場(遊具設置)をメインに、グランドゴルフやターゲットボードゴルフの機能も維持し、村内外から集客可能なキャンプ場等の再整備を行い、令和7年度以降の整備工事を目指す。 ・ふるさと納税の村内返礼品事業者と連携し、日吉津産の返礼品を増やし魅力発信を強化 ・返礼品事業者と寄附された方のつながりを強化できるよう、交流イベント開催等を検討 ・企業版ふるさと納税の寄附を活用し、村事業の充実・強化により、村の活性化につなげる。 	
------------------------	---	--

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり			
施策 1-4	未来技術の活用			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	デジタル技術を活用してあらゆる世代に使いやすい行政サービスを提供し、ニューノーマル（新しい生活様式）に対応した村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	情報システム等整備事業					【担当課】	総合政策課
	【事業概要】	自治体DXの推進を図り、行政手続きのオンライン化などデジタル技術を活用し、行政サービスの向上を推進します。						
評価指標 (KPI)	指標項目	住民向けAIチャットボット質問数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	500件	R3からR7の累計
	実績値	—	—	249	191	—	—	
	達成度		—	49.8%	88.0%	—	—	
評価指標 (KPI)	指標項目	電子申請手続き様式数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	20様式	R3からR7の累計
	実績値	—	5様式	23様式	24様式	—	—	
	達成度		25.0%	140.0%	260.0%	—	—	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・住民向け行政サービス （コンビニ交付をR5.4月から開始、R5実績：住民票224通、印鑑証明161通、所得証明28通） ・ショートメッセージサービスの活用（空き土地情報、電話が繋がらない方へのメッセージ提供） ・マイナポータルで様々な行政への届出や発行手続きが可能（採用試験の申込、罹災証明書など）	
評価 (C)	成果	・役場へ来庁不要で様々な手続きが可能となり、住民の利便性向上につながった。
	課題	・DX推進には多額な予算が必要であり、村民の利便性向上と併せて導入経費やランニングコスト等の費用対効果の検証が必要。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子決済の導入や公共施設オンライン予約サービスなどの検討を進める。 ・マイナンバー独自利用による住民サービスの向上、ChatGPT活用等による事務の効率化を検討。
-------------	---

基本目標2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり					評価	おおむね達成
目標	未婚・晩婚化の進行に歯止めをかけ、充実した子育て環境を提供することで、安心して子育てができる村をめざします。						
◆数値目標 (KGI)							
指標項目	婚姻届出数						
	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	備考
目標値	H30	—	—	—	—	100組	R1からR5の累計
実績値	17組	17組	14組	17組	16組	—	
達成度 (単年達成度)		17.0% (85.0%)	31.0% (70.0%)	48.0% (85.0%)	64.0% (80.0%)	—	単年目標値 (20組)
指標項目	合計特殊出生率						
	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	備考
目標値	H30	—	—	—	—	1.70	R1からR5の平均
実績値	1.75	2.27	1.68	1.62	1.78	—	
達成度 (単年達成度)		133.5% (133.5%)	116.2% (98.8%)	109.2% (95.3%)	108.1% (104.7%)	—	単年目標値 1.70
◆戦略の進捗分析／評価 (総括)							
※令和4年度評価の内容							
<p>【婚姻届出数】 数値目標 (KGI) は令和元年から令和5年の累計で婚姻届出数が100組になることを設定しており、20組 (100組/5年=20組) の婚姻届出数を超えると目標を達成しているといえます。 令和4年 (R4.1~R4.12) の婚姻届出数は16組 (鳥取県合計: 1,981組) 単年達成度は80.0%であるため、「おおむね達成」と評価できます。しかしながら、令和元年 (H31.1~R元.12) ~令和4年 (R4.1~R4.12) 実績値の合計は64組であることから、目標値に向けては努力が必要です。 新型コロナウイルスの影響による出会いの場の喪失や結婚の先送りなども要因として考えられますが、社会情勢や若年層の結婚観などの把握が必要です。</p> <p>【合計特殊出生率】 数値目標 (KGI) は令和元年から令和5年の平均で合計特殊出生率が1.70であることを設定しており、1.70以上であれば目標を達成しているといえます。令和元年 (H31.1~R元.12) ~令和4年 (R4.1~R4.12) 実績値の平均値は1.84であり、目標「達成」と評価することができます。 これは、20歳代や30歳代の若世代の転入者が多いことが要因の一つと考えられます。</p>							

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり	5 ジェンダー平等を 実現しよう 		
施策 2-1	結婚支援			

1. 総合戦略基本事項


施策目標	結婚希望者の意向を実現し、未婚・晩婚化の解消をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	結婚支援事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	鳥取県が運営している結婚サポート団体である「えんトリー」の登録経費を助成し、結婚に結びつくよう応援をしています。						
評価指標 (KPI)	指標項目	えんトリー登録者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	—	—	—	—	—	10人	R3からR7の累計
	実績値	—	5人	4人	1人	—	—	
	達成度		50.0%	90%	100%	—	—	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・令和5年度えんトリー入会登録料全額助成 1件 ・えんトリーを広報誌、ホームページ、113ch、イオンモール日吉津で周知 ・えんトリー及び鳥取県主催の婚活イベントをホームページで周知	
評価 (C)	成果	・えんトリー登録のきっかけが、村の広報を見られての登録であり周知の成果があった。
	課題	・近隣自治体と連携した広域的な婚活イベント及びサポートが必要。 ・出会いから成婚に結びつく仲人的な方の人材確保が必要。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、えんトリーの周知を行い入会登録を促進して結婚のサポートをしていく。 仲人に対する成果報奨金を創設し、出会いのきっかけや結婚支援につなげていく。 近隣自治体との広域連携によるイベント開催等で出会いやつながりを広げていく取組を実施 日吉津村のキャンプ場等を活用し、若者が集える出会いの場づくりを検討
----------------	---

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり		
施策 2-2	日吉津版ネウボラの深化		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	子どもの発達段階や個々の特性に応じた切れ目のない支援を行い、安心して子育てができる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	妊娠出産包括支援事業					【担当課】	福祉保健課
	【事業概要】	子育て世代包括支援センター「すまいるはぐ」を設置し、出産から子育てまで切れ目のない支援を行います。						
評価指標 (KPI)	指標項目	出生数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	H31	—	—	—	—	40人	毎年
	実績値	42人	31人	30人	31人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		77.5% (77.5%)	75.0% (75.0%)	77.5% (77.5%)	—	—	単年目標値 (40人)
評価指標 (KPI)	指標項目	保育所等待機児童数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	0人	毎年
	実績値	0人	0人	0人	0人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	—	—	単年目標値 (0人)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・利用者支援事業 (母子保健型) : 母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期までの継続的な情報提供・相談支援を実施 ・産前産後サポート事業 : 保健師による電話連絡や継続訪問による個別相談を行い、生後5か月頃には子育て支援センター体験を実施 ・産後ケア事業 : 保健師 (母子保健コーディネーター) が子どもの生まれた家庭を産後早期より訪問し、支援が必要な保護者へは訪問、電話相談等で継続的な支援を実施し、デイケア、ショートステイ、アウトリーチの活用につながった。	
評価 (C)	成果	・妊娠期から継続して関わることで、支援が必要な家庭の早期発見と継続的な介入が可能となりました。 ・関係機関との情報共有、早期相談を行うことにより、必要な支援事業の利用に繋がりました。 ・デイケア、ショートステイの活用につながった。 ・子育て応援アプリ『母子モ』の導入により、必要な情報発信ができた。
	課題	発達課題の早期発見、早期治療に努めること。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・乳児期から就学期までの期間を継続的に関わる事ができるミライトひえづの利点を生かし、連携を図りながら相談しやすい環境、体制づくりを継続します。
-------------	---

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり			
施策 2-3	教育の充実			

1. 総合戦略基本事項





施策目標	学校・地域が連携し、将来日吉津村に貢献する人材をともに育成します。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	コミュニティ・スクール事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	地域の住民、保護者等と学校の相互理解を深め、信頼される学校を構築します。							
	【事業名】	GUTS日吉津っ子育成事業					【担当課】	教育委員会	
【事業概要】	学校・家庭・地域が連携をしながら、地域に根差した体験学習等を提供し、子どもの健全育成を図ります。								
【事業名】	地元人材育成奨学金支援事業					【担当課】	教育委員会		
【事業概要】	奨学金を受けている方が大学卒業後、日吉津村に戻り地元の企業に通勤する場合、奨学金の返還額を補助することで、人材の確保を図ります。								
評価指標 (KPI)	指標項目	日吉津小学校への入学者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R2	—	—	—	—	36人	R3からR7の平均	
	実績値	31人	36人	36人	37人	—	—		
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	100.9% (102.8%)	—	—	単年目標値 (36人)	
評価指標 (KPI)	指標項目	カルチャー土曜塾参加者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	140人	毎年	
	実績値	135人	146人	207人	224人	—	—		
	達成度 (単年達成度)		104.3% (104.3%)	147.9% (147.9%)	160.0% (160.0%)	—	—	単年目標値 (140人)	
評価指標 (KPI)	指標項目	コミュニティ・スクールの新たな取り組み提案数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	—	—	—	—	—	1回	毎年	
	実績値	—	1回	1回	1回	—	—		
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	—	—	単年目標値 (1回)	
評価指標 (KPI)	指標項目	日吉津村地元人材育成奨学金支援事業利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	5件	R3からR7の累計	
	実績値	1件	1件	1件	0件	—	—		
	達成度 (単年達成度)		20.0% (100.0%)	40.0% (100.0%)	40.0% (0.0%)	—	—	単年目標値 (1件)	

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校運営協議会を設置し、小学校運営協議会を4回開催し、1・2年生生活科「昔遊び」に参加。 ・第5回日吉津村熟議（テーマ「子どもの夢の実現のために」）を実施 ・カルチャー土曜塾で、5つの定期コースと3つの体験コースを実施し、昨年度に引き続き、過去最多の児童が体験活動に参加。 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー土曜塾をとおして、様々な体験が得られることへの児童及び保護者の期待は大きく、参加者が年々増加している。 ・5回目となる熟議では、地域から42名の参加があり、様々な意見を交流できた。貴重な意見を学校運営に反映させるとともに、地域と協働し、地域ぐるみで子どもたちを育む基盤づくりにいっそう取り組んでいきたい。
	<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー土曜塾に参加する児童数の増加に伴い、地域ボランティアの拡大が必要である。 ・学校運営協議会では、熟議の振り返りと地域ボランティアの拡大に向けていっそう努めていきたい。
<p>委員会意見</p>		

3. 継続・改善点等

<p>次年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日吉津村は子育てをするのに良い村だというイメージを持って、転入して来られる方々があります。引き続き、きめ細やかな児童への指導及び支援体制の整備、体験活動の充実、コミュニティ・スクールを中心とした地域とともにある学校づくりに務めます。 ・青少年育成村民会議や、コミュニティスクール熟議の場などで、ボランティア参加の呼びかけを行ってまいります。
------------------------	--

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり		
施策 2-4	ミライトひえづの活用		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	新しく建設される複合型子育て拠点施設においても、地域との交流等を積極的にいき、安心して子育てができる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	複合型子育て拠点施設整備事業				【担当課】	福祉保健課	
	【事業概要】	保育所・児童館・子育て支援センター・民俗資料館を複合化した子育て拠点施設を建設します。						
	【事業名】	子育て支援センター運営事業				【担当課】	福祉保健課	
【事業概要】	地域における子育て支援の拠点として、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談、援助等を行います。							
評価指標 (KPI)	指標項目	子育て支援センター利用者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	2500組	毎年
	実績値	2209組	1201組	1030組	1278組	—	—	
	達成度 (単年達成度)		48.0% (48.0%)	41.2% (41.2%)	51.1% (51.1%)	—	—	単年目標値 2500組
評価指標 (KPI)	指標項目	ファミリーサポートセンター登録者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	75人	R7時点
	実績値	67人	62人	66人	65人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		82.7% (82.7%)	88.0% (88.0%)	86.7% (86.7%)	—	—	単年目標値 (75人)


2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・複合型子育て拠点施設の完成、令和4年9月5日から供用開始した。 ・子育て支援センターを開所：月～金（日・祝日、年末年始を除く）午前9時～午後4時 土 午前9時～午前12時	
評価 (C)	成果	・7月に岸田総理の視察訪問があり、様々なメディア等により村内外に施設の魅力や子育て支援の実態を発信できた。 ・母親の疾病により日中の育児が困難となったケースなど、特に支援の必要なケースに対して、一時預かりやファミサポが連携して支援を行うことができた。 ・こども園の入園に向けて、支援センターと一時預かりの適切な連携が図れている。 ・こども園の入園児童の増加により、保育室を確保するため、令和6年10月供用開始を目指し、増設工事を開始した。
	課題	・子育て支援センターが、村内の方限定利用となったことで、子育てサークルの活動も村外の方の参加が難しく、活動が縮小した。 ・ファミリーサポートセンターの利用希望に対して、支援会員数が少ないため、要望に応えきれない状況となっている。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・ミライトひえづに関する情報が広く村民に届くように、効果的な情報発信に努めます。 ・ファミリーサポートセンターの支援会員数を増やすために、ミライトひえづに関わる地域の方々々にアプローチを図ります。 ・子育て支援センターでは、限定的に村外の方の利用を可能とします。
-------------	---

基本目標3	働き続けられるむらづくり	評価	おおむね達成				
目標	住民の生活を支えるとともに、若年層やIJUターンの就労を望む方が希望に沿った就労ができる村をめざします。						
◆数値目標 (KGI)							
指標項目	総人口に対する生産年齢人口						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	R2	—	—	—	—	57.4%	R7時点
実績値	57.0%	56.50%	56.48%	56.43%	—	—	
達成度 (単年達成度)		98.4% (98.4%)	98.4% (98.4%)	98.3% (98.3%)	—	—	単年目標値 (57.4%)
◆戦略の進捗分析／評価 (総括)							
※令和5年度評価の内容							
<p>【総人口に対する生産年齢人口】</p> <p>基本目標3に対する数値目標 (KGI) は、総人口に対する生産年齢人口を設定しており、国勢調査の結果を実績値として評価することとしておりますので、令和7年国勢調査の結果をもって達成度を判断します。</p> <p>令和2年の国勢調査における日吉津村の結果を鳥取県内で比較すると、生産年齢人口の割合は鳥取市、米子市に次ぐ県で3番目に高い値です。15歳未満人口の割合は14.6%と県下で一番高く、また、65歳以上の高齢者人口については28.4%と県下で一番低い値でした。</p> <p>参考に、令和5年12月末時点の住民基本台帳上の人口をみみると、総人口3,620人に対して、15～64歳人口が2,043人ですので、総人口に対する生産年齢人口は56.43% (2,043人/3,620人=56.43%) となり、「おおむね達成」と評価できません。</p> <p>過去5年間の本村の生産年齢人口の割合について住民基本台帳上の人口を参考にしますと、H29 57.8%、H30 57.4%、R元 57.4%、R2 57.0%、R3 56.5%、R4 56.48%、R5 56.43%であり減少傾向にあります。令和5年における15～64歳の社会増減をみると、転入者は176人、転出者は140人と、転出者を上回る転入者ではありますが、団塊の世代が高齢になった事による高齢化の影響が大きく、生産年齢人口の割合が微減する結果となりました。</p> <p>また、鳥取県内で比較したときの日吉津村の特徴として、25～34歳は転入者が多いことがあげられます。これは、移住定住施策に加えて、就業場所が豊富な米子市へのアクセスのしやすさ、日吉津村に在住しながら就労ができる生活の利便性の良さが関係していると考えられます。</p>							

基本目標3	働き続けられるむらづくり	8 働きがいも経済成長も	17 ハートナッシュで目標を達成しよう
施策3-1	持続的な地域経済の実現		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	地域経済を支える地元企業が地域の担い手となり、持続的に活躍することをめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	商工振興事業	【担当課】	総合政策課				
	【事業概要】	商工団体と連携し、中小事業所の経営安定、福利厚生の上昇及び地域経済の活性化等を図ります。						
	【事業名】	新型コロナウイルス対策金融支援事業（感染症対策事業）	【担当課】	総合政策課				
【事業概要】	新型コロナ対策融資に係る利子負担を軽減することにより、資金を借り入れた事業者の経営安定を図ります。（新型コロナウイルス感染症対応利子補給事業補助金） アフターコロナを見据え、経営計画の策定を支援することにより、中小企業者の経営能力等の向上を図ります。（米子日吉津商工会経営診断計画策定業務補助金） 新型コロナ感染拡大に伴い、影響を受けている村内事業者に対し、鳥取県と協調し給付的支援を行い事業継続と雇用の維持を図ります。（コロナ禍克服支援給付金）							
【事業名】	新型コロナ経済対策商品券事業	【担当課】	総務課					
【事業概要】	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い落ち込んだ消費を改善するために、商品券を発行して村内経済の活性化を図ります。							
評価指標 (KPI)	指標項目	地域経済循環率						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	H27				—	75.5%	R7時点
	実績値	75.0%	77.6%	内閣府 公表データなし		—	—	
	達成度 (単年達成度)		102.8%			—	—	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業小口融資預託 3件 ・ 米子日吉津商工会運営補助 ・ 新型コロナウイルス感染症対応利子補給事業補助金 金融機関 6機関、事業者 39件（融資に係る利子負担の軽減） ・ 商品券取扱店舗登録数 107店舗（第5回：6/30～11/30） 120店舗（第6回：12/27～3/31） ・ 商品券利用率 84.95%（3月末時点） 97.53%（R6繰越含む5月末時点） 						
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と連携を図りながら、利子補給等を行い、事業継続の支援を実施。 ・ 商品券は予算計上から発行まで素早くでき、消費者の利用も早いいため、事業主へのスピード感のある支援につながった。 					
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者不在等により廃業される事業者もあり、事業承継が課題 ・ 進学等で若い方が村外へ転出するケースが多くあり、雇用先の確保が課題 					
委員会意見							

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工団体と定期的に情報交換等を実施し、中小事業者のニーズ把握に努める。 ・ 創業支援補助金の予算を確保し、新規創業への取組を支援 ・ 今年度の事業を継続し、来年度も県と協調した利子補給事業を継続予定 ・ 村内での就職希望者が増加するよう、若者と村内事業者が参加するイベント開催等を検討
----------------	---

■地域経済循環率：生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。循環率が高いほど地域の稼ぐ力が強いといえる。

基本目標3	働き続けられるむらづくり	15 緑の豊かさを つらつ		
施策3-2	農業の活性化			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	農業者が安心して農業に従事できる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	がんばる地域プラン事業			【担当課】	建設産業課		
	【事業概要】	「がんばる地域プラン」により、事業基盤の強化や農業生産性の向上、多様な担い手の確保を図ります。						
	【事業名】	小規模農家支援事業			【担当課】	建設産業課		
【事業概要】	小規模農家の営農意欲の維持・増進を図るとともに、村内の直売所への出荷を支援することで地産地消を促進します。							
評価指標 (KPI)	指標項目	農業の担い手数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	7人	R7時点
	実績値	5人	5人	5人	6人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		71.4% (0.0%)	71.4% (0.0%)	85.7% (250.0%)	—	—	単年目標値 (0.4人)
評価指標 (KPI)	指標項目	アスパルへ出荷する農家数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	60戸	R7時点
	実績値	40戸	33戸	35戸	36戸	—	—	
	達成度 (単年達成度)		55.0% -(175.0%)	58.3% (50.0%)	60.0% (25.0%)	—	—	単年目標値 (4戸)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・農業経営改善計画の新規認定(広域認定) ・農作業お助け隊と作業を希望する方とのマッチング ・環境農業維持支払交付金の支払	
評価 (C)	成果	・認定農業者(広域認定) 1名増 ・農作業のマッチング 3件 ・環境農業維持支払交付金 対象者55名 対象面積12.6ha
	課題	・チューリップは、農業経営として栽培する農家が減少し、委託栽培で維持しているのが現状であり、今後は、農業分野以外での取り組みも検討する必要があります。 ・農業の活性化に向けて、新たな特産品づくりが必要です。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばる地域プラン事業については、各事業の効果・優先度を見極めながら年次的に推進する。 ・小規模農家支援事業については、現行のスキームに代わる仕組みを検討する。 ・村内外から幅広い担い手の確保に努めるとともに、地域計画に基づき、農地利用の集約化を推進する。 ・農作業の省力化を図るため、スマート農業を推進する。
----------------	---

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	評価	実績値なし
目標	地域の絆を深め、村内外に元気な村のイメージを広め、人口減少社会にあっても定住先に選ばれる村をめざします。		

◆数値目標 (KGI)

指標項目	日吉津村が住みやすいと感じる方の割合						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	—	—	—	—	—	50.0%	次回アンケート結果
実績値	45.4%	—	次期の村づくりアンケート			—	
達成度 (単年達成度)		—	—	—	—	—	

指標項目	日吉津村に住み続けたい方の割合						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	—	—	—	—	—	60.0%	次回アンケート結果
実績値	59.9%	—	次期の村づくりアンケート			—	
達成度 (単年達成度)		—	—	—	—	—	

◆戦略の進捗分析／評価 (総括)

※前回の村づくりアンケートの内容

【日吉津村が住みやすいと感じる方の割合・日吉津村に住み続けたい方の割合】

基本目標 4 に対する数値目標 (KGI) は、日吉津村が住みやすいと感じる方の割合と日吉津村に住み続けたい方の割合を設定しています。この指標項目では、18歳以上の方を対象とした「むらづくりアンケート」の調査結果で評価をしております。次回のむらづくりアンケートは令和 6 年度の実施を計画しておりますので、その結果をもって評価を行います。

令和 2 年に実施した調査では、特徴として 30 歳代が日吉津村を評価する傾向が強く、特に「人のあたたかみが感じられる村である」の項目では、「そう思う」と回答した方の割合が、全体の 22.5% に対して、30 歳代は 51.7% と大きく上回っています。これは保育所や小学校での取り組みを通して子育て世代と地域の関係性が構築されているためと推測できます。

村づくりアンケート調査結果 (R2.1~2実施)

単位：%

	全体	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
日吉津村を「住みやすい村」だと感じますか	45.4	39.1	65.5	51.1	40.6	39.1	44.8
これからも日吉津村に住み続けたいと思いますか	59.9	43.5	65.5	57.4	50.0	59.4	69.0
活気にあふれた村である	14.1	13.0	27.6	25.5	9.4	6.3	11.5
きれいな村である	22.2	30.4	34.5	23.4	3.1	18.8	25.3
災害や事故が少なく安全な村である	30.3	34.8	41.4	25.5	21.9	21.9	37.9
緑豊かで自然に恵まれた村である	23.9	30.4	34.5	34.0	15.6	15.6	23.0
人のあたたかみが感じられる村である	22.5	21.7	51.7	25.5	12.5	12.5	23.0
生活しやすい村である	34.5	30.4	55.2	46.8	28.1	23.4	33.3
安心して子育てができる村である	34.5	26.1	48.3	42.6	37.5	21.9	36.8
村民として誇れる村である	32.4	26.1	44.8	44.7	25.0	23.4	33.3

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	11 住み続けられるまちづくりを	17 ハートフルなまちづくりを
施策 4-1	人がつながるコミュニティづくり		

1. 総合戦略基本事項



施策目標	地域コミュニティ活動の活性化を図り、協働と参画の村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	ヴィレステひえづ拠点事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	生涯学習の場としてヴィレステひえづに村民が集い「元気な村づくり」を推進する人材を育成します。							
	【事業名】	コミュニティ活動支援事業					【担当課】	総合政策課	
【事業概要】	コミュニティ支援スタッフを配置するとともに、コミュニティ活動支援事業助成金を活用した自治会等の主体的な活動を支援しています。								
評価指標 (KPI)	指標項目	ヴィレステひえづ利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	33,000人	R3からR7の平均	
	実績値	32,483人	35,610人	27,862人	33,642人	—	—		
	達成度 (単年達成度)		107.9% (107.9%)	96.2% (84.4%)	98.1% (101.9%)	—	—	単年目標値 (33,000人)	
評価指標 (KPI)	指標項目	コミュニティ支援助成制度利用件数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	—	—	—	—	—	25件	R3からR7の累計	
	実績値	4件	2件	4件	5件	—	—		
	達成度		8.0%	24%	44%	—	—		

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) <ul style="list-style-type: none"> ふれあいフェスタ2024は、展示スペースをミライトとヴィレステに、飲食・販売・イベントスペースを小学校体育館に分けて開催。併せて、小学校創立150周年特別企画「KIROROのヴォーカル玉城千春さんによる歌とメッセージ」を開催。 第6回日吉津村音楽祭開催 中学生サークルが、意欲的に活動できるよう支援を行った。 コミュニティ支援スタッフが定期的に自治会役員会等へ参加した。 公民館の修繕等に必要な費用をコミュニティ支援として助成を行った。 	
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいフェスタは、昨年度に続いてステージイベントや飲食スペースも設置し、多くの来場者があった。音楽祭は、14組のグループが出演し、来場者がヴィレステホールに入れないほど盛況であった。令和5年度は、中高生のボランティアがチューリップマラソン、村民運動会、環境の日、ふれあいフェスタ、音楽祭等のイベントに参加し、運営に加わり活躍した。 コミュニティ支援スタッフと村民とのコミュニケーションを深め、行政への相談をしやすくなるよう取り組んだ。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に中学生サークルは活動内容が増加した。取組の継続により活動が高校生にも広がるよう、広報の手段や内容等工夫を行う。 コミュニティ支援の助成内容は、公民館等の修繕が多く、コミュニティの活性化や村づくりに直積的につながるものではなく助成金の見直しが必要
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ヴィレステひえづが、拠点となって、様々な生涯学習を展開しています。引き続き、村民が集い、村の活動の中心となるよう、各事業を充実させていきます。 コミュニティ支援の助成金を見直し、自主的で継続的なむらづくりの活動を支援する「日吉津村チャレンジサポート地域事業補助金」を創設
-------------	--

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを
施策 4-2	いきいきと暮らせる環境づくり		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	医療・保健・福祉・介護が一体となった総合的な健康づくりを推進し健康寿命の延伸をめざします。							
事業内容 (P)	【事業名】 健康寿命延伸事業 【担当課】 福祉保健課							
	【事業概要】 健康的な生活習慣を獲得するための健康教室やインセンティブ付与を行い、生活習慣病を予防します。							
評価指標 (KPI)	指標項目	『まちの保健室』参加者						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	85人	毎年
	実績値	70人	19人	25人	49人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		22.4% (22.4%)	29.4% (29.4%)	57.6% (57.6%)	—	—	単年目標値 (85人)
評価指標 (KPI)	指標項目	前期高齢者の介護保険の認定を受けている人の割合						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	5.0%	R7時点
	実績値	5.2%	4.7%	5.2%	3.25%	—	—	
	達成度 (単年達成度)		106.0% (106.0%)	101.0% (96.0%)	114.1% (135.0%)	—	—	単年目標値 (5.0%)
評価指標 (KPI)	指標項目	健康ポイント交換者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	20人	毎年
	実績値	18人	96人	90人	118人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		480.0% (480.0%)	450.0% (450.0%)	590.0% (590.0%)	—	—	単年目標値 (20人)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室：かがやき学級（高齢者学級）との共催実施、ヴィレステひえびイベントとの共催実施 ・食習慣改善事業：食生活コントロールキャンペーン（8・2月）実施 ・健康ポイント事業：ポイント達成者118人 ・健口寿命延伸事業：特定健診時歯科保健指導、妊婦歯科検診費用助成を実施 ・特定健診・がん検診受診率向上事業：新40歳に健康ファイルを配布し、健康づくりに関する情報提供を行った。特定健診受診率が50.5%に上昇した。（前年度47.4%） ・フレイル対策：フレイル予防の普及啓発、フレイル評価システムを活用したフレイルチェックを実施 	
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイント達成者が昨年度より増加し、40歳未満の達成者も見られた。 ・訪問によるフレイルチェック、事後相談を行い、健康づくりの意識向上につながった。 ・特定健診受診率が若干上昇した。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・働き世代のポイント付与者、達成者が少ない。 ・まちの保健室の自治会向け開催が行えていない。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代を対象とした健康づくりに関した教室やイベントを開催し、ポイントを付与する。 ・まちの保健室の自治会開催を再開する。
-------------	--

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	11 住み続けられる まちづくり		
施策 4-3	安心・安全なむらづくり			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	安心・安全な暮らしが送れるよう、環境負荷をできる限り低減する循環型社会の構築と防災に強い村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	ごみの減量化事業				【担当課】	住民課	
	【事業概要】	電気式生ごみ処理機の助成等を行い家庭ごみの減量化を図るとともに、正しいごみの分別や環境保全についての周知を行います。						
	【事業名】	住宅用太陽光発電システム等導入支援事業				【担当課】	住民課	
【事業概要】	太陽光発電システムや蓄電池などの導入補助を行いCO2の削減と省エネルギー社会を実現します。							
【事業名】	災害対策事業				【担当課】	総務課		
【事業概要】	災害備蓄品や資器材を整備するとともに、防災訓練や防災士の育成を行い災害に備えます。							
評価指標 (KPI)	指標項目	一人当たりのごみの排出量						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	570 g	R3からR7の平均
	実績値	574 g	576 g	574 g	543 g	—	—	
	達成度 (単年達成度)		— (98.9%)	— (99.3%)	— (104.7%)	—	—	単年目標値 (570 g)
評価指標 (KPI)	指標項目	防災士資格取得者の育成						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	—	—	—	—	—	30人	R7時点
	実績値	—	22人	26人	27人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		73.3% (100.0%)	86.7% (200.0%)	90.0% (50.0%)	—	—	単年目標値 (2人)

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人当たりのごみの排出量について、令和5年度は評価指標 (KPI) の単年目標値を達成 ジョギングなどの運動をしながらごみ拾いを行う「ながらごみ拾い活動」を開始 (R5.7~) プロギングイベントの実施 (R5.7.23実施 (中学生サークル主催)) 防災無線等を活用したごみに関する啓発活動 不法投棄された廃棄物の迅速な回収 電気式生ごみ処理機等導入経費の一部を助成 (電気式生ごみ処理機 4台、コンポスト 2台) 太陽光発電システム等導入補助 6件 蓄電池5件 全職員対象の防災訓練を実施 防災士の養成 防災倉庫を避難所である農業者トレーニングセンターへ移設 役場、小学校へのミサイル発射を想定した訓練の実施 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広報ひえづに、毎月、ごみ収集に関する記事を掲載し周知・啓発が図れた。 不法投棄ごみは、通報があった都度、速やかに回収し、きれいな環境を維持した。 電気式生ごみ処理機等の助成、太陽光発電システム等の補助、それぞれを活用いただき、ごみの減量化、CO2削減につなげた。 初めての試みとなる、風水害を想定した訓練を実施し、初動時の体制確認及び課題点の抽出、参加者と共有を図ることができた。 備蓄倉庫を避難所であるトレーニングセンターへ移設したことにより、備蓄物の整理及び災害時における円滑利用に繋がると考えている。
<p>委員会意見</p>	<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 村内の道路脇や側溝にごみの投棄の事例があり、不法投棄の形態が変化しています。 備蓄品の更新及び備蓄物の見直しが必要。 防災士の地域との連携の推進。

3. 継続・改善点等

<p>次年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線等を活用したごみに関する啓発活動 不法投棄された廃棄物の迅速な回収 (きれいな環境維持) 電気式生ごみ処理機等導入経費助成 太陽光発電システム等導入補助 引き続き、防災士の育成及び研修を実施します。 自治会 (自主防災組織) と防災士の連携強化を図ります。 継続して、村民参加、全職員対象の防災訓練を実施します。
------------------------	--

令和6年度（対象：令和5年度）

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） 事業効果検証報告書

令和3年8月20日 付で認定を受けた地域再生計画に記載されているまち・ひと・しごと創生寄附活用事業に係る令和5年度の実施状況について、下記のとおり報告します。

記

1 地域再生計画の名称及び事業の名称

地域再生計画の名称	第2期日吉津村ふるさと創生推進計画
事業の名称	日吉津村ふるさと創生推進事業
地域再生計画の概要	日吉津村は、これまで人口が増加傾向であった。将来的に人口増加の推計もあるが、毎年の出生者が20人台後半であった場合は、急激な減少はないものの、人口が減少傾向に転じる。階層別人口の推計から、子どもを増やす取り組みは勿論だが、生産年齢人口が流入する施策にも取り組むことが、人口を減少させず、維持・増加に効果的であると考え。具体的には、「住むなら日吉津!」、「子育てなら日吉津!!」などを基本目標として掲げ、定住策、健康寿命延伸の取組等の強化を行い、将来的な人口減少傾向を解消し、人口の増加を目指す。

2 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附の実績

年度	
事業費計（円）	27,727,384
寄附額計（円）	5,100,000

法人名	法人番号	寄附額（円）	受領日	公表の可否
株式会社アミバラ	8260001000354		2023/4/28	①企業名・寄附額：公表
有限会社新生電気工事	6270002006054		2023/6/28	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社シンセイ	5270001003318		2023/6/30	②企業名：公表、寄附額：非公表
-	-		2023/9/15	③企業名・寄附額：非公表
合同会社ラビッツ			2023/9/29	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社RUNWAYS			2023/9/29	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社ワーバス	8270001003645		2023/9/21	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社ナゴウェブ			2023/10/31	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社リンクス	5270001003870		2024/1/22	②企業名：公表、寄附額：非公表
タレントスクエア株式会社			2024/3/1	②企業名：公表、寄附額：非公表

3 事業の実施状況に関する客観的な指標

指標	人口の社会動態（人）		
	年月	目標値	実績値
申請時	2019年12月	-	66(H27～R元年累計)
初年度	2020年12月	-	2
2年目	2021年12月	-	20
3年目	2022年12月	-	40
4年目	2023年12月	-	36

指標	婚姻届出数		
	年月	目標値	実績値
申請時	2018年12月	-	17
初年度	2019年12月	-	17
2年目	2020年12月	-	14
3年目	2021年12月	-	17
4年目	2022年12月	-	16

指標	合計特殊出生率		
	年月	目標値	実績値（総人口）
申請時	2018年12月	1.7	1.75
初年度	2019年12月	1.7	2.27
2年目	2020年12月	1.7	1.68
3年目	2021年12月	1.7	1.62
4年目	2022年12月	1.7	1.78

4 事業費及び関連する寄附額

事業の名称	地域魅力発信事業
-------	----------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	移住・定住促進
---------------------	-----------	---------

事業の概要

「必要な情報を必要な時に分かりやすく提供すること」を目的とし、公式ホームページの運営を行うとともに、ホームページを中心にInstagramやFacebookなど各種SNSと連携し村内外に情報発信を行うことで、安心して暮らせる環境の整備と移住定住の促進を図る。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	655,730	歳入計	655,000
		内訳	655,000
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	655,000
		※上記以外の財源	

事業の名称	企業版ふるさと納税推進事業
-------	---------------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	
---------------------	-----------	--

事業の概要

企業からの寄附を地方版総合戦略に位置付けられた事業に活用し、企業版ふるさと納税の推進を行う。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	899,904	歳入計	899,000
		内訳	899,000
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	899,000
		※上記以外の財源	

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	
---------------------	-----------	--

事業の概要

仕事、住まい、結婚を総合的にサポートする「移住定住総合相談窓口」を開設し各関係機関や団体等と連携して支援を行う。本村へ移住し、住宅を取得した世帯への継続した経済的支援を行う。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	571,500	歳入計	571,000
		内訳	571,000
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	571,000
		※上記以外の財源	

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	少子化対策
---------------------	------------	-------

事業の概要

複合型子育て拠点施設の管理運営及び、各施設間の連携を図る。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	16,408,851	歳入計	700,000
		内訳	700,000
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	700,000
		※上記以外の財源	

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	移住・定住促進
---------------------	-----------	---------

事業の概要

海浜運動公園、キャンプ場の維持、管理。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	7,295,041	歳入計	1,275,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			1,275,000
			※上記以外の財源

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	元気なむらづくり事業	
---------------------	------------	--

事業の概要

ヴィンステひえづが多種多様な学習・体験の場を提供し、活動を支援することで、あらゆる世代の村民が、様々な形でヴィンステひえづに集うことを目指す。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	586,820	歳入計	150,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			150,000
			※上記以外の財源

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	元気なむらづくり事業	
---------------------	------------	--

事業の概要

「元気なむらづくり」を推進する人材の育成。 村民が気軽にイベントに参加し、相互親睦を深め、共に学び発表する場をつくる。
--

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	1,309,538	歳入計	850,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			850,000
			※上記以外の財源

5 事業の目標の達成状況

該当するものに「○」	達成状況
	目標以上を達成
○	概ね目標を達成
	目標達成に向け順調に推移
	やや目標達成困難
	目標達成困難